

PROFILE

戸田 一 雄

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
医療科学専攻発生分化機能再建学講座
生体情報科学分野



平成13年7月1日より長崎大学大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻発生分化機能再建学講座生体情報科学分野（旧歯学部口腔生理学講座）を担当しております。

私は東京医科歯科大学歯学部を卒業後市岡正道先生の口腔生理学教室で研究生活を始めました。現在に至るまで私の研究テーマはただひとつ痛みの生理学のみであります。私が生理学を勉強しはじめたころの市岡教室は筑波大学へ移られたばかりの本郷利憲先生や工藤典雄先生、それに長崎での私の前任者である佐藤俊英先生などがおられ大変活気あふれる教室でした。私は市岡先生をはじめこれらの先生方から生理学の基本を親切に教えていただきました。このことは研究をはじめたばかりの私にとって大変幸運なことでありました。特に、佐藤先生からは英語論文の書き方について徹底的に教えていただき今もその力で仕事をさせていただいております。偶然にも佐藤先生の後任に私が着任したことに強い因縁を感じます。

長崎に来てからも相変わらず痛みの研究をしています。新しい研究として心臓の痛みの解析を心臓外科学の江石清行教授とプロジェクトを組んで開始しました。幸い長崎大学には痛みに関心の強い先生方が他にも多くおられ、恵まれた環境の中で研究生活を楽しんでおります。先日、医歯薬学総合研究科の旧3学部の連合で長崎痛みの科学研究会が発足し、これから長崎での痛み研究がますます発展することが期待されています。

教育に関しては長崎大学には生理学関連の教室が数多くあり、生理学各分野にわたる専門家がお

られます。医学伝習塾（旧長崎医科大学の前身）の創立者ポンペ・ファン・メールデルフォルトが安政4年から人身究理学として生理学を教授していたという記録が残っていますから長崎の生理学教育には古い歴史があります。私は長崎の生理学のよい伝統を受け継ぎ充実した教育を実践していきたいと思っております。現在、生理学の講義・実習は学内外の先生方の強力なご支援のもとに行っており密度の濃い教育体制が整っていると自負しております。

日本の大学の将来は混沌としていますが、この時期に興味ある研究が続けられることに感謝し痛みの研究がさらに進歩するように努力していきたいと思えます。きょうも11時02分、長崎の鐘が町中に鳴り響いています。ことさら平和を願うこの町の特殊性を身をもって感じながら長崎での仕事を楽しまたいと思えます。今後ともご指導・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

略歴

- 昭和51年3月 東京医科歯科大学歯学部歯学科卒業
- 昭和55年3月 東京医科歯科大学大学院歯学研究科 生理学専攻修了
(指導 市岡正道教授)
- 昭和55年4月 東京医科歯科大学歯学部 文部教官助手
- 平成13年7月 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 文部科学教官 教授